

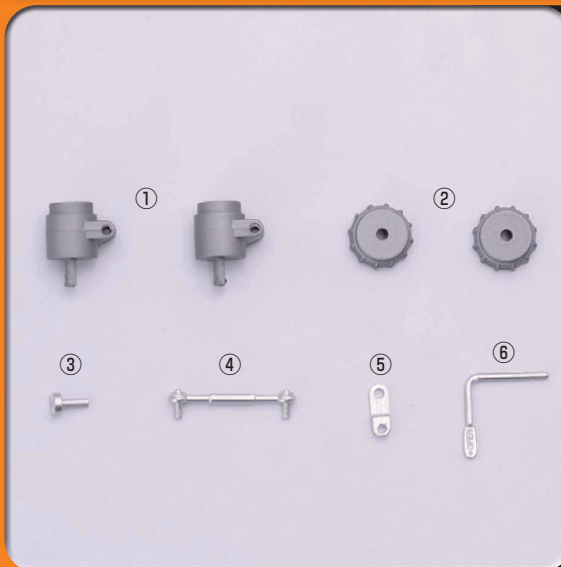
今号の作業

キャブレターを組み立てる③



今号の組み立て作業で、キャブレターの本体部分がほぼ完成する。11号と12号で提供し、保管しておいたチョークロッド&レバーを取り付けることになるのだが、小さくて折れやすいパーツなので、細心の注意を払って作業しよう。

今号のパーツ



- ① スロットルボディA×2
- ② トップキャップ×2
- ③ スロットルストップスクリュー×1
- ④ チョークロッドB×1
- ⑤ チョークレバーB×1
- ⑥ チョークレバーC×1

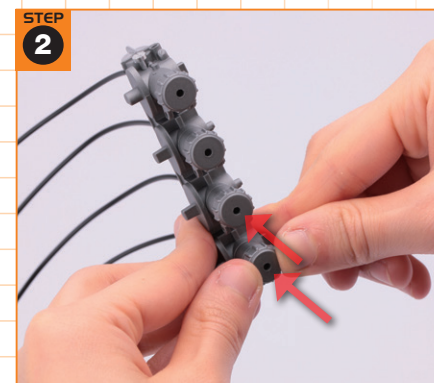
※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

用意するもの

- ・キャブレター本体(12号で組み立てたもの)
- ・チョークロッドA×2(11号と12号で提供したもの)
- ・チョークレバーA×3(11号と12号で提供したもの)



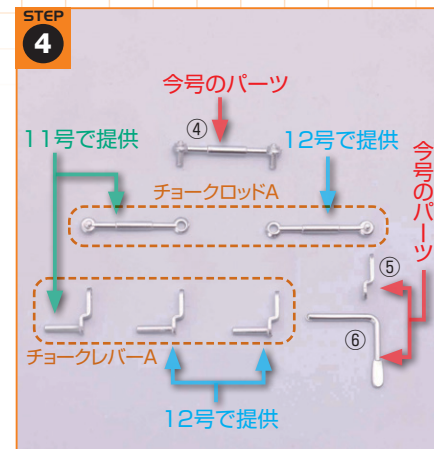
①スロットルボディAに、②トップキャップをかぶせ、奥まで真っすぐに押し込む。パーツが斜めに傾いていると差し込みが固くなってしまいますので、必ず真っすぐ押し込む。同じものを2個組み立てる。



前回の作業で組み立てたスロットルボディBの残り2つの穴に、スロットルボディAの取り付けピンの向きを合わせ、真っすぐに差し込む。しっかりと奥まで差し込もう。



スロットルボディBの側面(スロットルボディAの真下)にある穴に、③スロットルストップスクリューを差し込む。スロットルボディBの段差部分に当たるので、そこまで差し込む。



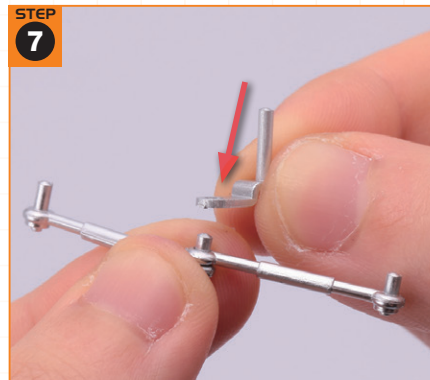
11号と12号で提供し、保管しておいたチョークレバーA(3個)とチョークロッドA(2本)を用意し、今号で提供した④チョークロッドB、⑤チョークレバーB、⑥チョークレバーCを合わせ、写真のように並べて形状を確認しておこう。



STEP 5
 チョークロッドAの端にある穴に、チョークロッドBのピンを差し込む。このとき、チョークロッドAのピンとBのピンが同じ方向に突き出るように向きを合わせる。



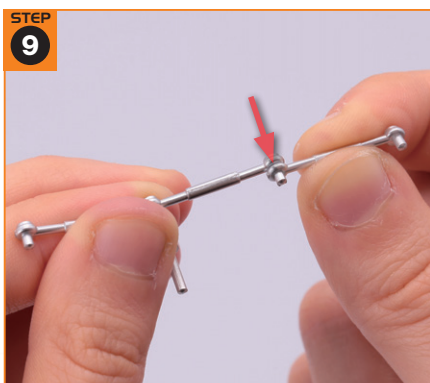
STEP 6
 チョークロッドAに、チョークロッドBを差し込んだ状態。まだピンが固定されていないので、抜け落ちないように注意しよう。



STEP 7
 チョークロッドAとBをつないだピンに、チョークレバーAを差し込む。すべてのピンが同じ向きになっているかを確認しよう。



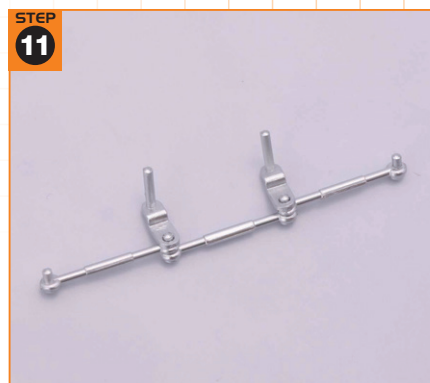
STEP 8
 差し込んだチョークレバーAの縁をつめの先などで押さえ、しっかりとめ込む。完全に固定されていないので、乱暴に扱うとパーツが抜け落ちてしまうから注意が必要だ。



STEP 9
 チョークロッドBの、もう片方のピンをもう1本のチョークロッドAの穴に差し込む。反対側に取付けたパーツが落ちないように、指で保持しながら作業しよう。



STEP 10
 チョークロッドAとBをつないだピンに、2つ目のチョークレバーAを差し込む。差し込んだチョークレバーAの縁をつめの先などで押さえ、しっかりとめ込む。



STEP 11
 これで3本のチョークロッドと、2個のチョークレバーがつながった。写真のように組み立てられたかを確認しておこう。



STEP 12
 ⑩の状態ですぐに台に置いたチョークレバー左端のピンに、3つ目のチョークレバーAを差し込む。組み立てた部分が外れないよう、台の上に置いた状態で作業しよう。

STEP
13



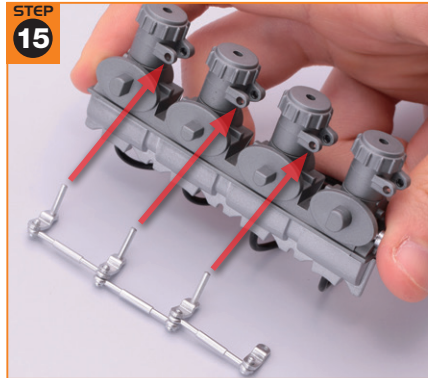
右端のピンに、チョークレバー-Bを差し込む。チョークレバー-Bには穴が2カ所あるが、「レバーが長い方の穴」にピンを差し込むようにする。また、レバーの途中に段差があるので、長い方を下、短い方を上にする。

STEP
14



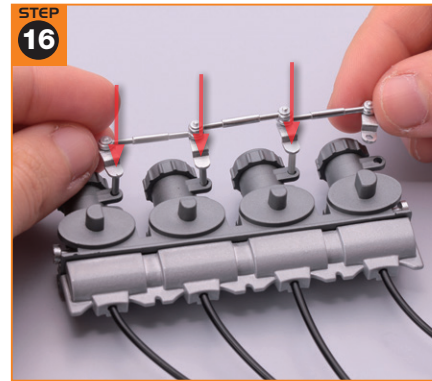
これで4個のチョークレバーが取り付けられた。最後に取り付けしたチョークレバー-Bの向きが合っているか、写真と照らし合わせて確認しよう。また、各チョークレバーは、チョークロッドに対して垂直になるよう取り付け角度を調整しよう。

STEP
15



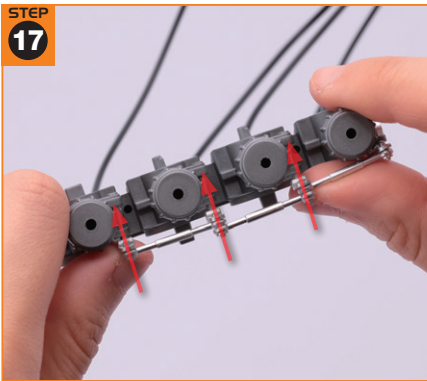
ここでキャブレター本体を用意しよう。各スロットルボディAの横には2本の突起があり、そこには穴が設けられている。この穴にチョークレバーのピンが差し込まれる。

STEP
16



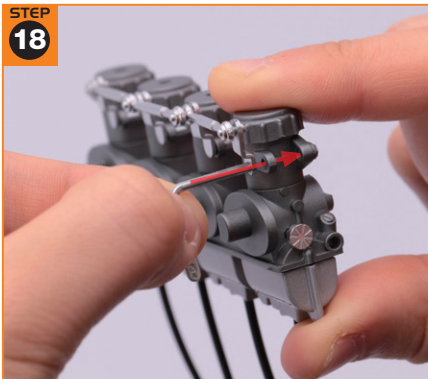
キャブレター本体を置き、スロットルボディAの穴にチョークレバーのピンを合わせ、慎重に差し込む。なお、チョークレバー-Bの穴は、一番右側にあるスロットルボディAの穴に合わせておく。

STEP
17



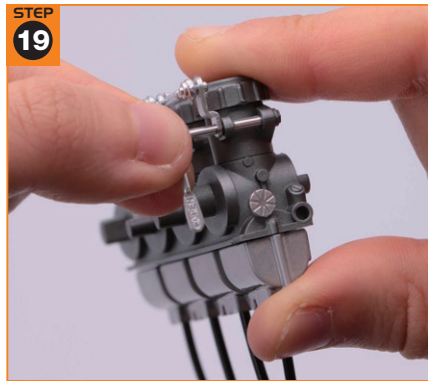
チョークレバー-Aにそれぞれのピンを差し込んだら、真っすぐに奥まで押し込む。ピンと、それを受ける穴の位置がずれていると押し込めないで、1本ずつ位置を確認しながら押し込もう。

STEP
18



チョークレバー-Cをチョークレバー-Bの穴に差し込み、そのまま右端にあるスロットルボディAの穴へ差し込む。

STEP
19



チョークレバー-Cを軽く押し込んで固定する。後の号で取り付け角度を調整するため、抜け落ちなければOKだ。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。チョークレバーの角度は、エンジンとの接続パーツである「キャブレターインシュレーター」を取り付けるときに調整・固定するので、今回の作業では“抜け落ちない程度”に固定されていれば問題ない。組み立てたキャブレターは、次回の作業に備えて大切に保管しておこう。